

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【公開番号】特開2016-88926(P2016-88926A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2015-43590(P2015-43590)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/5575	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2018.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 0 1 K	67/027	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 K	31/5575	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	37/08	
C 1 2 N	15/00	Z N A G
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 N	5/00	1 0 2
A 0 1 K	67/027	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/68	
G 0 1 N	33/566	

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月5日(2018.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

IKAROS (IKZF1) 阻害剤を含む、抗炎症薬。

【請求項2】

前記IKAROS阻害剤は、PGE2、抗IKAROS siRNA、および抗IKAROS抗体からなる群より選択される、請求項1に記載の抗炎症薬。

【請求項3】

前記抗炎症薬は、上皮組織を標的とするものである、請求項1～2のいずれか1項に記載の抗炎症薬。

【請求項4】

前記炎症は、IKAROSに起因する上皮が関与する炎症である、請求項1～3のいずれか1項に記載の抗炎症薬。

【請求項5】

局所投与剤である、請求項1～4のいずれか1項に記載の抗炎症薬。

【請求項6】

前記抗炎症薬は、皮膚または粘膜組織における炎症の処置または予防のためのものである、請求項1～5のいずれか1項に記載の抗炎症薬。

【請求項7】

以下の(1)～(3)の工程：

(1) IKAROS遺伝子もしくは該当遺伝子の転写調節領域の制御下にあるレポータータンパク質をコードする核酸を含む細胞を、被検物質に接触させる工程；

(2) 前記細胞におけるIKAROS遺伝子もしくはIKAROSタンパク質またはレポータータンパク質の発現量を測定する工程；および

(3) 被検物質の非存在下において測定した場合と比較して、IKAROS遺伝子もしくはIKAROSタンパク質またはレポータータンパク質の発現量を低下させた被検物質を、抗炎症性物質の候補として選択する工程

を含む、抗炎症性物質のスクリーニング方法。

【請求項8】

IKAROSと被検物質とを接触させ、IKAROSと結合能を有する被検物質を抗炎症性物質の候補として選択することを特徴とする、抗炎症性物質のスクリーニング方法。

【請求項9】

以下の(1)～(3)の工程：

(1) 炎症性疾患の標的細胞を、IKAROSの存在下および非存在下で被検物質に接触させる工程；

(2) 各条件下での前記細胞における炎症反応の程度を測定する工程；および

(3) 被検物質の非存在下において測定した場合と比較して、IKAROSの存在下で炎症反応を抑制し、IKAROSの非存在下で炎症反応を抑制しなかった被検物質を、IKAROSの機能を阻害して抗炎症作用を示す物質の候補として選択する工程を含む、抗炎症性物質のスクリーニング方法。

【請求項10】

polyl : C、インターロイキン-1 (IL-1)、腫瘍壞死因子 (TNF) またはH2O2刺激により炎症反応を惹起することを特徴とする、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記細胞が、上皮細胞を含む、請求項7、9または10のいずれか1項に記載の方法。

【請求項12】

前記炎症は、IKAROSに起因する上皮が関与する炎症である、請求項7～11のいずれか1項に記載の方法。

**【請求項 1 3】**

polyl : C を含む、IKAROS 遺伝子の発現上昇または誘導のための組成物。

**【請求項 1 4】**

IKAROS 遺伝子の発現が上昇または誘導された、単離細胞。

**【請求項 1 5】**

IKAROS 遺伝子の発現が上昇または誘導された、炎症モデル動物。

**【請求項 1 6】**

前記炎症モデル動物は、皮膚組織および粘膜組織からなる群より選択される少なくとも1つに細胞浸潤がみられる、請求項15に記載の炎症モデル動物。